

交牧連の活動日誌

～みんな違う みんな仲間～

第17回 牛を身近に感じ、酪農を知ってもらうために

青空酪農教室開き、現場と牛乳・乳製品の関係伝える

地域交流牧場全国連絡会北陸ブロック(富山県黒部市 くらべ牧場まきばの風) **三谷 昭人**

くらべ牧場まきばの風は、3市1町で構成されていた前身の新川育成牧場組合が解散し、黒部市直営となった牧場です。私は1987年生まれで、共働きの両親の下、黒部市で生まれ育ちました。中学生の時に「食べ物を生産する仕事がしたい!」と思うようになり、動物が好きだったこともあって酪農の道に進むことを決めました。その後、新潟大学農学部を経て、中学生の頃から研修させてもらっていた新川育成牧場に勤めることになりました。

くらべ牧場まきばの風は約70頭の搾乳牛の他、県内外からの育成牛やヤギの育成・搾乳作業の受託、牧場で搾った生乳の加工・販売に加え、ふれあい事業を行っており、昨年度は年間約7万人が来場しました。

私は、現在家畜部門の主任として10人のメンバーと搾乳牛や受託牛、ヤギの飼養および牧草地の管理などを行っています。

全国の酪農家の熱い思い知り、交流・体験のノウハウ学ぶ

地域交流牧場全国連絡会(交牧連)との関わりは牧場就職後すぐに始まりました。当時の新川育成牧場が交牧連に参加していたことや、非農家出身の私自身が酪農家と一般消費者の間に距離を感じていたこともあって、率先して参加したことを覚えています。

私は酪農を志し、偶然近くに牧場があったために牛のことや酪農業について自ら調べたり、触れたりする機会を持ちました。しかし、一般の消費者は普段から牛乳や牛について考える機

会が少なく、実際に手にする生産物(牛乳・乳製品)と酪農という生産現場に大きな隔たりができていたのではないかと感じていたのです。

私自身、これまで日々食べている食材の生産現場を想像する機会は多くなかったと思います。そんな時に参加した交牧連で、全国のさまざまな酪農家たちが熱い思いを持って交流活動を行っているのを知り、とても大きな刺激を受けました。そこでは、地元の小学校



現場を支える牧場のスタッフたち



牧場からは富山湾が一望できる



3密回避の工夫を図りながら開催した青空酪農教室



牧場では搾乳牛の一部を放牧

との交流や体験のノウハウ、それぞれの酪農家さんの取り組みを勉強させていただいたりしました。それを持ち帰り、自分たちの牧場ではどんなことができるのか、どういう話し方をすれば牧場での仕事内容や生産現場の思いを多くの人に知ってもらえるのかを考えました。

3密避けながら間近で牛を見て 関心を持ってもらう体験を企画

交牧連の活動として、くらべ牧場まきばの風では地元の学生や来場者に向け搾乳体験や牛舎見学の他、アイスクリームやバターづくりの体験などを実施しています。私はその中の搾乳体験や牛舎見学を主に担当しています。これらの体験はコロナ禍で大きな影響を受けました。2020年度は体験活動を中止し、21年度もほとんど実施できませんでした。22年度から徐々に体験活動を再開すると、その中で「酪農青空教室」が好評でした。牧場に遊びに来てくれたお客さんたちに搾乳牛や子牛を見てもらいながら、牧場の仕事や牛の生活についてさまざまな話をしました。教室には、小さなお子さんから大人まで50人ほどが参加。本物の牛を近くで見る機会が少ないお客さんたちは興味を持って話を聞いてくれ、いろいろな質問も出ました。コロナ禍の中で3密



教室では牛を間近に見る機会も

にならないよう心掛けながら、多くの人に生産現場を知ってもらうには、とても満足かい体験だ

たと思います。一般の消費者は決して牛乳や牛に「興味がない」わけではなく「知らない」だけ。このような活動を通して酪農業に関心を持ってもらい、生産物と生産現場は切っても切れない関係であることを知ってもらう機会を持てたことは非常に有意義であったと思います。

昨今は明るい話題の少ない酪農業界ですが、生乳は飲用だけでなく多くの加工品にできる、生活に欠かせない生産物の一つです。その生産を担う酪農家は、富山県はもちろん全国的に減少しています。私はこのような体験を通して酪農業に関心を持ってもらうことはもちろん、将来の夢として私のように「酪農がしたい」という人が少しでも出てくれるといいなと思いながら活動を続けていくつもりです。そして、それが今後の酪農業界にとって次の一歩になっていくことを信じています。



家畜部門の主任を務める筆者

【牧場概要】

牧場名 くらべ牧場まきばの風
 代表者名 武隈 義一
 所在地 富山県黒部市宇奈月町栃谷広谷4番地
 設立年 1969年
 飼養頭数 乳牛237頭(うち搾乳頭数70、受託牛107)、ヤギ163頭(うち搾乳頭数70)
 年間生産乳量 706 t
 飼養形態 放し飼い(フリーバーン、一部放牧)
 飼料畑面積 約80ha(オーチャードグラス、イタリアンライグラス、スーダングラス)
 牧場スタッフ 11人
 交牧連加入年 1999年
 主な活動 酪農教育ファーム活動、インターンや研修の受け入れ

地域交流牧場全国連絡会(交牧連)に関するお問い合わせ先

(一社)中央酪農会議内交牧連中央事務局
 TEL:03-6688-9841 FAX:03-6681-5295
 メール: koubokuren@churaku.jp
 ホームページ: https://www.dairy-farm.jp/
 フェイスブック: https://www.facebook.com/koubokuren



【交牧連 HP】